

平成 29 年平均
富山市の家計調査の結果（家計収支編）概要について

総務省統計局より「家計調査報告〔家計収支編〕（平成 29 年平均速報結果の概況）」が公表され、富山市分がまとまりましたのでお知らせいたします。

調査の概要

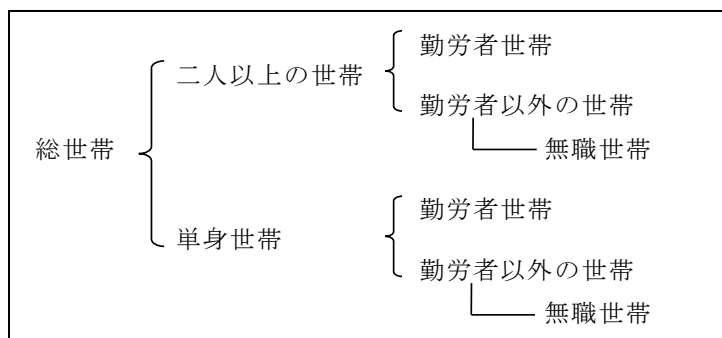
1 調査の目的

家計調査は、全国の世帯を対象とし、毎月の家計収支を調査することにより、国民生活の実態を明らかにして、経済施策や社会政策立案のための基礎資料を得るために行う調査であり、主に都道府県庁所在市の調査結果が公表されている。

2 調査世帯

区 分	全 国	富 山 県			
		富山市	射水市	魚津市	計
総 世 帯	8,821	104	26	13	143
二人以上の世帯	8,076	96	24	12	132
単 身 世 帯	745	8	2	1	11

3 調査世帯区分



「勤労者世帯」：世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに雇われて勤めている世帯。
ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社・団体の役員である世帯は「勤労者以外の世帯」に含める。

「勤労者以外の世帯」：上記の「勤労者世帯」以外の世帯。例えば、世帯主が自営業者、個人経営者など上記の使用者側にある世帯。

「無職世帯」：「勤労者以外の世帯」のうち、世帯主が無職である世帯。

結果の概要

(1) 二人以上の世帯の家計消費

二人以上の世帯の消費支出は315,868円で全国第5位、実質1.1%の増加

平成29年の二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均315,868円で全国第5位となり、前年（平成28年）と比較すると、名目2.2%の増加、実質1.1%の増加となった。

消費支出を10大費目別にみると、「食料」、「光熱・水道」、「被服及び履物」、「保健医療」、「交通・通信」、「教育」の6費目が実質減少となった一方、「住居」、「家具・家事用品」、「教養娯楽」、「その他の消費支出」の4費目が実質増加となった（表1、図1、図2）。

表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成28年	順位	平成29年	順位	名目	実質	平成29年
世帯人員(人)	3.34	2	3.18	5	-	-	2.98
65歳以上人員(人)	0.85	18	0.85	16	-	-	0.86
有業人員(人)	1.68	1	1.58	2	-	-	1.32
世帯主の年齢(歳)	56.2	42	57.3	40	-	-	59.6
消費支出(円)	309,205	9	315,868	5	2.2	1.1	283,027
食料	75,501	14	75,469	14	0.0	-1.6	72,866
住居	12,236	43	16,361	30	33.7	30.8	16,555
光熱・水道	24,105	8	24,743	9	2.6	-1.4	21,535
家具・家事用品	9,540	34	11,216	13	17.6	21.7	10,560
被服及び履物	11,371	19	10,510	25	-7.6	-8.2	10,806
保健医療	12,630	23	12,089	29	-4.3	-5.6	12,873
交通・通信	45,581	10	45,051	15	-1.2	-1.7	39,691
教育	11,414	19	8,580	32	-24.8	-25.6	11,062
教養娯楽	27,761	19	28,992	13	4.4	3.8	27,958
その他の消費支出	79,066	3	82,857	1	4.8	3.7	59,120
エンゲル係数(%)	24.4	32	23.9	37	-	-	25.7

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

図1 費目別消費支出金額（富山市、二人以上の世帯）

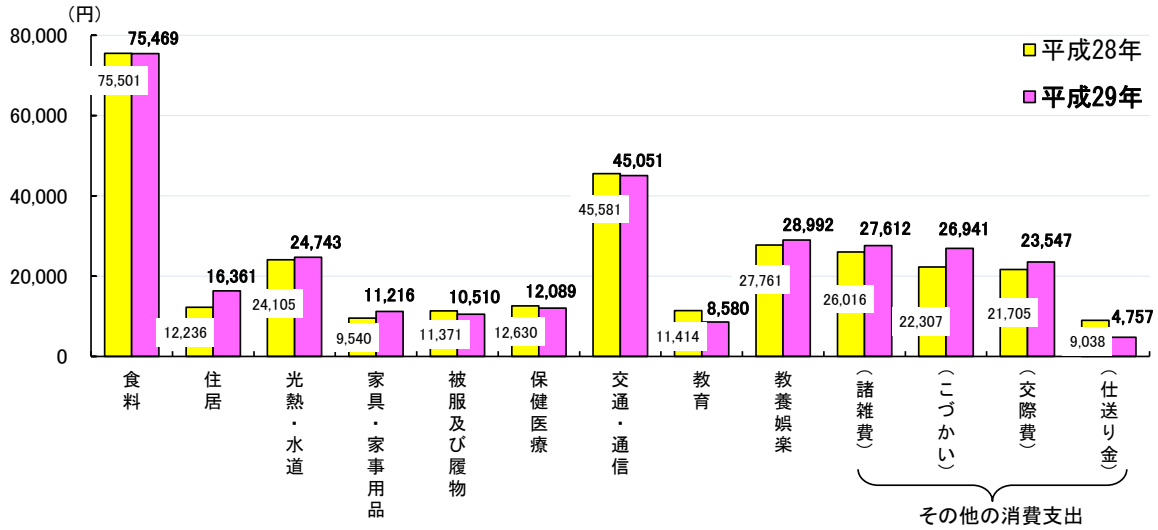
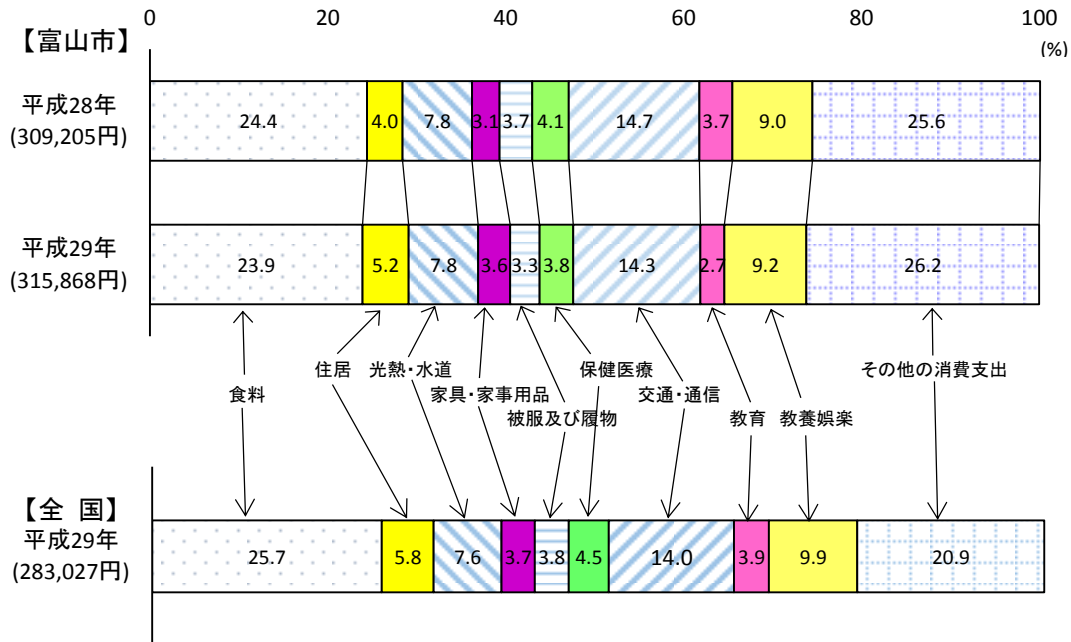


図2 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



(2) 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

勤労者世帯の実収入は590,884円で全国第9位、実質2.2%の減少
可処分所得は509,535円で全国第3位、実質1.5%の減少

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均590,884円で全国第9位となり、前年と比較すると名目1.1%の減少、実質2.2%の減少となった。

実収入の内訳をみると、「勤め先収入」のうち「配偶者の収入」(95,829円、全国第10位)や「他の世帯員収入」(41,623円、全国第1位)が全国平均を大きく上回っている。また、年金等を含む「その他の収入」も71,410円で全国第1位となっている。

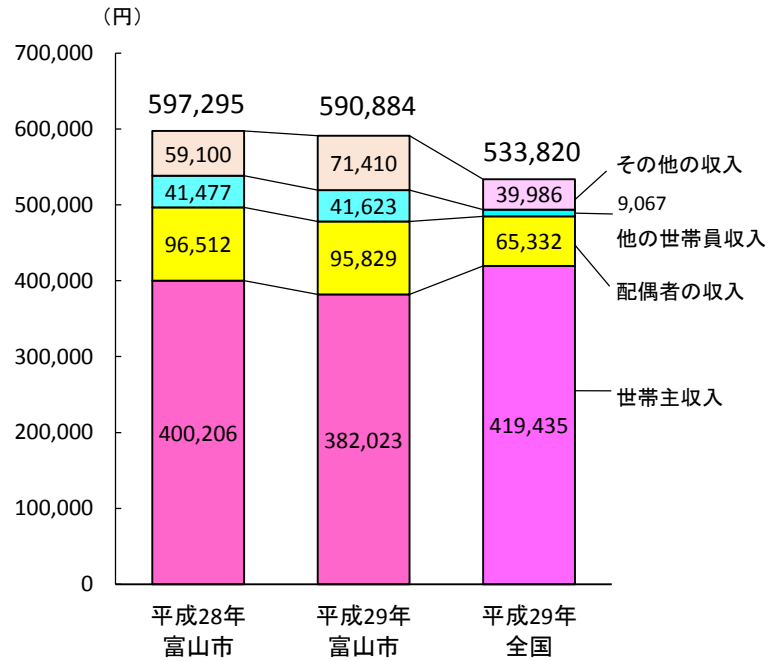
その他に、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は509,535円で全国第3位となった(表2、図3)。

表2 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成28年	順位	平成29年	順位	名目	実質	平成29年
世帯人員(人)	3.55	3	3.38	22	-	-	3.35
65歳以上人員(人)	0.42	1	0.48	1	-	-	0.26
有業人員(人)	1.93	3	1.95	3	-	-	1.74
世帯主の年齢(歳)	48.0	30	50.2	13	-	-	49.1
実収入(円)	597,295	8	590,884	9	-1.1	-2.2	533,820
勤め先収入	538,195	8	519,474	14	-3.5	-4.5	493,834
世帯主収入	400,206	26	382,023	36	-4.5	-5.5	419,435
世帯主の配偶者の収入	96,512	9	95,829	10	-0.7	-1.8	65,332
他の世帯員収入	41,477	1	41,623	1	0.4	-0.7	9,067
その他の収入	59,100	2	71,410	1	20.8	19.5	39,986
消費支出(円)	319,644	18	332,906	10	4.1	3.0	313,057
非消費支出(円)	85,887	37	81,349	39	-5.3	-	99,405
可処分所得(円)	511,408	3	509,535	3	-0.4	-1.5	434,415
黒字(円)	191,764	1	176,629	2	-7.9	-	121,358
平均消費性向(%)	62.5	47	65.3	44	-	-	72.1
エンゲル係数(%)	23.3	29	22.7	38	-	-	23.8

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

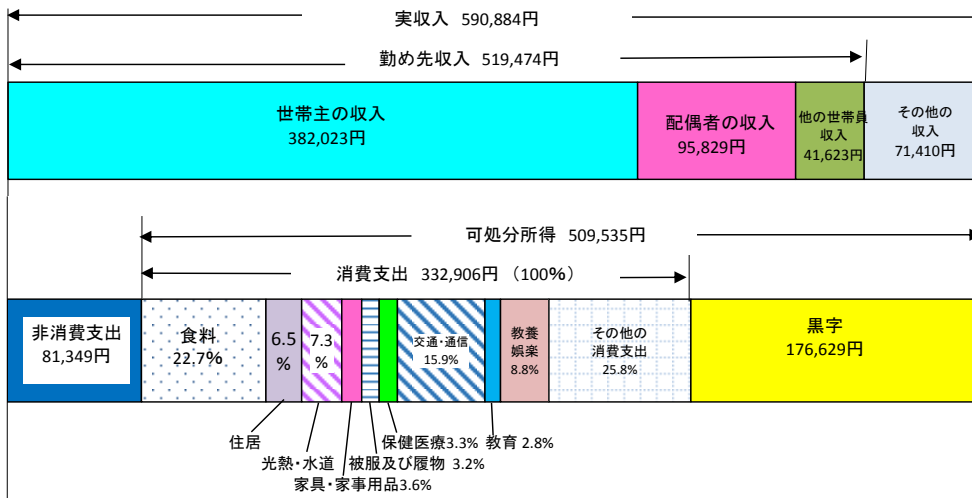
図3 実収入の内訳（二人以上世帯のうち勤労者世帯）



勤労者世帯の消費支出は 332,906 円で全国第 10 位、実質 3.0%の増加

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均332,906円で全国第10位となり、前年と比較すると名目4.1%の増加、実質3.0%の増加となった（表2、図4）。

図4 家計収支の構成（富山市、二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



(3) 総世帯の家計収支

総世帯の消費支出は 268,389 円で全国第 8 位、実質 4.8%の増加
 勤労者世帯の実収入は 550,533 円で全国第 5 位、実質 9.5%の増加

総世帯[※]の消費支出は、1世帯当たり1か月平均 268,389 円で全国第 8 位、前年と比較すると名目 6.0%の増加、実質 4.8%の増加となった。

総世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均 550,533 円で全国第 5 位、前年と比較すると名目 10.7%の増加、実質 9.5%の増加となった（表 3、表 4）。

※ 総世帯とは、「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯をいう。

表 3 消費支出（総世帯）

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成28年	順位	平成29年	順位	名目	実質	平成29年
世帯人員(人)	2.54	1	2.58	3	-	-	2.33
有業人員(人)	1.34	1	1.28	2	-	-	1.06
世帯主の年齢(歳)	53.8	45	58.0	32	-	-	59.3
消費支出	253,296	10	268,389	8	6.0	4.8	243,456

表 4 家計収支（総世帯のうち勤労者世帯）

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成28年	順位	平成29年	順位	名目	実質	平成29年
世帯人員(人)	2.72	21	2.94	8	-	-	2.66
有業人員(人)	1.63	3	1.77	2	-	-	1.52
世帯主の年齢(歳)	44.2	38	49.6	11	-	-	47.1
実収入(円)	497,099	12	550,533	5	10.7	9.5	469,722
消費支出	268,672	24	302,698	10	12.7	11.5	271,136
非消費支出	79,542	33	76,931	33	-3.3	-	87,288
可処分所得	417,557	7	473,601	3	13.4	12.2	382,434
黒字	148,885	6	170,903	3	14.8	-	111,299
平均消費性向(%)	64.3	44	63.9	43	-	-	70.9
エンゲル係数(%)	22.5	35	23.3	27	-	-	24.0

(4) 食料品品目別ランキング（二人以上の世帯、都道府県庁所在市別）

「ぶり」は46年連続、「こんぶ」は57回目の支出金額第1位

二人以上の世帯の1世帯当たり年間の食料の支出金額が大きい品目をみると、「ぶり」、
「魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等）」、「こんぶ」、「オレンジ」が全国第1位となった。
中でも「ぶり」は46年連続で全国第1位である。

「こんぶ」は都市別データが確認できる昭和35年以来（平成25年を除く。）57回全国
第1位となっている（表5）。

表5 富山市の食料品全国ランキング

全国順位		平成28年	平成29年	
支出金額	上位	1位	ぶり、さしみ盛合わせ、こんぶ オレンジ、プリン、カツレツ アイスクリーム・シャーベット	ぶり、魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等） こんぶ、オレンジ
		2位	もち、いか、あさり、えのきたけ、だいこん漬 魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等） こんぶつくだ煮、天ぷら・フライ そうざい材料セット、コーヒー飲料	もち、いか、だいこん漬 プリン、カツレツ 冷凍調理食品
		3位	カップ麺、かまぼこ、はくさい漬、ふりかけ 冷凍調理食品、果実・野菜ジュース	さしみ盛り合わせ、えのきたけ、カステラ せんべい、すし（弁当）、サラダ ココア・ココア飲料
	下位	45位	粉ミルク・ケチャップ	ちくわ、かつお節・削り節 他の乳製品（生クリーム、ホイップクリーム等） しょう油、砂糖
		46位	かつお節・削り節、ミネラルウォーター	他の大豆製品（おから、きな粉等） 紅茶、ミネラルウォーター
		47位	弁当	小麦粉、粉ミルク、梅干し 酢、ケチャップ
購入数量	上位	1位	ぶり、さしみ盛合せ、だいこん漬 オレンジ	もち、ぶり だいこん漬、オレンジ
		2位	カップ麺、いか、豆腐 こんぶつくだ煮	さしみ盛合せ、ハム みそ
		3位	塩さけ、ソーセージ、卵 えのきたけ、こんぶ、はくさい漬	カップ麺、えのきたけ こんぶつくだ煮、カレールー
	下位	45位	ピーマン	粉ミルク、梅干し、柿
		46位	たまねぎ、酢	他の麺類（ギョーザの皮、ビーフン等） だいこん、ピーマン 他の茶葉（玄米茶・麦茶等）
		47位	粉ミルク	小麦粉、酢

用語の解説

収支項目

実収入	…	いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したものの。
実支出	…	「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出。
消費支出	…	いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
非消費支出	…	税金や社会保険料など、原則として世帯の自由にならない支出。
可処分所得	…	「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。 可処分所得＝実収入－非消費支出
黒字	…	「実収入」と「実支出」との差であり、マイナスの場合は赤字ということになる。これは「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。 黒字＝実収入－実支出＝可処分所得－消費支出
貯蓄純増	…	「預貯金」と「保険掛金」の合計から「預貯金引出」と「保険取金」の合計を差し引いたもの。 貯蓄純増＝（預貯金＋保険掛金）－（預貯金引出＋保険取金）

各種比率

エンゲル係数	…	消費支出に占める食料費の割合であり、生活水準の高低を表す一つの指標となる。 エンゲル係数（％）＝食料費÷消費支出×100
平均貯蓄率	…	可処分所得に対する貯蓄純増の割合。 平均貯蓄率（％）＝貯蓄純増÷可処分所得×100
平均消費性向	…	可処分所得に対する消費支出の割合。 平均消費性向（％）＝消費支出÷可処分所得×100
実質増減率	…	名目増減率から消費者物価変動の要素を除いたもの。 消費支出の項目ごとの対前年実質増減率は、次式により求めている。 なお、実収入、可処分所得及び消費支出は、消費者物価指数の持家の帰属家賃※を除く総合指数の変化率を用いている。

$$\text{実質増減率（％）} = \left[\frac{100 + \text{名目増減率}}{100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}} - 1 \right] \times 100$$

※ 持家の帰属家賃…持家の住宅を借家とみなした場合、支払われるべき家賃

※ 調査結果については、調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意する必要がある。

※この家計調査の結果は、以下の URL でもご覧になれます。

- ・富山県 HP とやま統計ワールド
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>
- ・総務省統計局家計調査 HP
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/2.htm#new>（家計収支編）